

12月16日 TODA HALLにてリアル開催（生成AI大賞同時開催）

2026/08/20 ver.

# Generative AI Conference 2026

## 協賛のご案内

主催：日経ビジネス

協力：一般社団法人 Generative AI Japan



Generative AI Japan

日経BP

## 定着し始めた生成AI活用―「どう使いこなすか」のネクストステップへ

本カンファレンスでは、先進的な活用事例や最前線の知見をもとに「生成AIの有意性」についてさまざまな角度から発信してまいりました。業務活用が定着した現在では「生成AIをどう使いこなすか」が企業経営・事業成長において重要な指針となります。

昨年の参加者からは先進事例の発信を通じて好評を得た一方で、「スポットでの利活用ではなく組織としてどう使うのか」「企業経営にどのようなインパクトを与えるのか」という問いや、「導入は当たり前」という認識のもと、効果最大化のために何ができるかに注目が集まっています。

3回目となる今回の開催では現場/部門レベルでの実践から企業/組織としての生成AI活用まで範囲を広げ、企業における生成AIの「絶対的な必要性」を広く発信いたします。製品/サービスの訴求のみならず、リアルなニーズをヒアリングし企業支援に必要なツールとして周知を広める絶好の機会となります。ぜひご協賛をご検討いただけますようお願い申し上げます。

### ※Generative AI Conference2025にて実施したアンケート結果より抜粋

- 生成AIが、「IT部門だけの課題」ではなく「全社戦略・経営戦略」であることを、明確にメッセージングできている点が重要です。これにより、単発の導入ではなく、組織全体の変革につながる取り組みが加速すると期待できます。
- 日本での応用開発をどんどん進めないといけないであろう点も気づかされました。
- 大企業と中小企業との間で取り組み状況に差が生まれていることに強い危機感を覚えました。

- ・ 役職者（主任/係長クラス以上）が約7割、部長クラス以上が約3割
- ・ 従業員数：1,000人以上が約5割

**意思決定に関わる層が中心であり、従業員数1,000人以上の大企業が約半数**

- ・ 生成AIに関しての立場： 業務で実際に利用する（43.9%）、導入の意思決定をする立場（13.1%）
- ・ 生成AIの活用を進めるにあたり、知りたい情報： 他社や業界での具体的な活用事例（77.6%）

**生成AI活用に対する関心は高く、実践フェーズを見据えた前向きなニーズが増えている**

# Generative AI Conferenceとは

カンファレンス、アワード、メディアの三位一体で「生成AI」の可能性を社会に広く伝えていきます

## 「生成AI大賞」の実施

\*Generative AI Conference内で  
「生成AI大賞」の最終審査・表彰を行います。



企業や団体による生成AIの優れた活用事例を表彰。  
アワードを通じて成功事例を共有し、生成AIが持つポテンシャルを社会に示します。

カンファレンス

## 「Generative AI Conference」の開催



先進企業や有識者による講演やパネルディスカッションを実施。  
ビジネスへの応用可能性を参加者に広く伝えていきます。

Generative(生成) AI

アワード

メディア

各種媒体での情報発信

日経ビジネス

日経 XTECH 日経 XTREND

「日経ビジネス」などのメディアを中心に情報発信を行い、生成AIの導入・活用に対する  
機運を高め、企業や社会全体でのイノベーション創出のきっかけを提供していきます。

## Generative AI Conference 2026



|        |                                                                                                                                 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会期     | 2026年12月16日(水)                                                                                                                  |
| 開催形態   | リアル開催                                                                                                                           |
| 開催場所   | TODA HALL & CONFERENCE TOKYO                                                                                                    |
| 主催     | 日経ビジネス                                                                                                                          |
| 協力     | 一般社団法人 Generative AI Japan/ 日経BP 総合研究所                                                                                          |
| 事前登録者  | 800-1,000名程度                                                                                                                    |
| 参加対象者  | <ul style="list-style-type: none"><li>・生成AI導入をご検討中の方</li><li>・生成AI活用に課題を感じている方</li><li>・業務効率化や競争力向上のためのAI活用に興味・関心のある方</li></ul> |
| 事前登録方法 | 事前登録制（登録無料）                                                                                                                     |

1

## 生成AIに関する専門団体

### 「Generative AI Japan」との連携

大手企業を中心に幅広い業種の生成AIを活用する企業が参画している(一社)Generative AI Japanと連携し、企画立案、プロモーション、集客を行います。本カンファレンス内で、生成AI大賞の最終審査・表彰式を実施します。



2

## 生成AIに関する有識者・関係者が集う

### 「ネットワーキングパーティー」の開催

本カンファレンスの最後には関係者限定のネットワーキングパーティーを実施します。このネットワーキングパーティーには協賛企業の方々もご招待いたします。



3

## 「日経ビジネス」媒体でのプロモーション

### とメディア露出

日経ビジネスの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRにもつながります。



# Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

## 1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

### Generative AI Japanとは

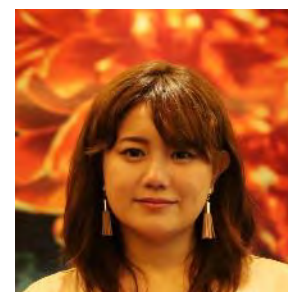
産学連携にて生成AIの活用の促進やルール・ガイドラインの整備、提言などを行い、日本の産業競争力を高めることを目指し2024年1月に発足。代表理事は慶應義塾大学医学部の宮田裕章教授が務め、理事・顧問には学术界や先端企業の有識者ら19人が就任、70社を超える企業が会員として加盟。（2025年4月時点）

**Representative Director**  
代表理事

データサイエンティスト  
慶應義塾大学医学部 教授  
Co-Innovation Ecosystem 代表理事  
**宮田 裕章**



**Expert Director**  
有識者理事



**Advisor**  
顧問



株式会社ベネッセスタイルケアグループ  
専務執行役員  
**橋本 英知**

**Auditor**  
監事



税理士法人原田税務会計事務所  
公認会計士・税理士・行政書士・社会保険労務士  
**原田 将充**

デジタルハリウッド大学  
教授・学長補佐  
**佐藤 昌宏**

慶應義塾大学大学院  
システムデザイン・マネジメント研究科 教授  
H2L, Inc. CEO  
琉球大学 工学部 客員教授  
東京大学 大学院 工学系研究科 客員教授  
**玉城 絵美**

専修大学 経営学部 准教授  
**國吉 啓介**  
※業務執行理事 兼 事務局長

# Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

## 1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

### Generative AI Japanとは

産学連携にて生成AIの活用の促進やルール・ガイドラインの整備、提言などを行い、日本の産業競争力を高めることを目指し2024年1月に発足。代表理事は慶應義塾大学医学部の宮田裕章教授が務め、理事・顧問には学术界や先端企業の有識者ら19人が就任、70社を超える企業が会員として加盟。（2025年4月時点）

#### Director 理事



トレンドマイクロ株式会社  
サイバーセキュリティ・イノベーション  
研究所 執行役員 所長  
**飯田 朝洋**



ULSコンサルティング株式会社  
取締役会長  
**漆原 茂**  
※発起人



日本マイクロソフト株式会社  
執行役員 常務  
クラウド&AIソリューション事業本部長  
**岡寄 禎**



アルサーガパートナーズ株式会社  
代表取締役会長兼CTO  
**小俣 泰明**



パナソニックコネクト株式会社  
執行役員 ヴァイス・プレジデント  
CIO(兼)IT・デジタル推進本部  
マネージングダイレクター  
**河野 昭彦**



株式会社メンバーズ  
グループ執行役員  
採用育成本部 本部長  
**白井 恵里**



アマゾンウェブサービスジャパン合同会社  
執行役員  
パブリックセクター技術統括本部長  
**瀧澤 与一**



日本オラクル株式会社  
専務執行役員  
クラウド事業統括  
**竹爪 慎治**



株式会社ベイカレント・コンサルティング  
代表取締役社長  
**則武 譲二**



XinobiAI株式会社  
共同代表CEO  
**馬淵 邦美**



株式会社サイバーエージェント  
AI事業本部  
AIクリエイティブDiv 統括  
**毛利 真崇**



株式会社Recursive  
共同創業者  
代表取締役会長  
**山田 勝俊**

# Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

## 1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

<Generative AI Japan会員企業一覧>

### 大手企業を中心に幅広い業種の企業が加盟

| 企業名                    | 業種・カテゴリ     | 企業名                | 業種・カテゴリ     | 企業名                      | 業種・カテゴリ  |
|------------------------|-------------|--------------------|-------------|--------------------------|----------|
| ULSコンサルティング株式会社        | 理事会員        | 株式会社アイスマイリー        | AI          | 株式会社カリス                  | コンサルティング |
| 日本マイクロソフト株式会社          | 理事企業        | アイテック阪急阪神株式会社      | 情報・通信       | CLINKS株式会社               | AI       |
| アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 | 理事企業        | 株式会社アカツキAIテクノロジーズ  | AI          | KDDIアイレット株式会社            | AI       |
| 日本オラル株式会社              | 理事企業        | 株式会社アサイン           | 人材          | ゲッティ・イメージズ・セールス・ジャパン合同会社 | サービス     |
| 株式会社サイバーエージェント         | 理事企業        | アジアクエスト株式会社        | 情報・通信       | 株式会社 神戸デジタル・ラボ           | システム開発   |
| 株式会社ベイカレント・コンサルティング    | 理事企業        | 味の素株式会社            | 食料品         | 株式会社サンリオ                 | サービス     |
| 株式会社Recursive          | 理事企業        | 株式会社アルファシステムズ      | 情報・通信       | Sky株式会社                  | 情報・通信    |
| アルサーガパートナーズ 株式会社       | 理事企業        | 石井食品株式会社           | 製造業（食品）     | スパイスファクトリー株式会社           | システム開発   |
| 株式会社メンバーズ              | 理事企業        | 出光興産株式会社           | エネルギー       | セイコーエプソン株式会社             | 製造・機械    |
| パナソニック コネクト株式会社        | 理事企業        | SB Intuitions株式会社  | 情報・通信       | セガサミーホールディングス株式会社        | サービス・機械  |
| トレンドマイクロ株式会社           | 理事企業        | NTTドコモソリューションズ株式会社 | システム開発      | セコム株式会社                  | サービス     |
| XinobiAI株式会社           | 理事企業        | ENEOSホールディングス株式会社  | エネルギー・資源・素材 | ZVC JAPAN株式会社            | 情報・通信    |
| 沖縄科学技術大学院大学            | 特別会員        | 株式会社荏原製作所          | 機械          | 株式会社ソフトフロントホールディングス      | 情報・通信    |
| 企業名                    | 業種・カテゴリ     | 企業名                | 業種・カテゴリ     |                          |          |
| 大和ハウス工業株式会社            | 建設          | 阪急阪神不動産株式会社        | 不動産         |                          |          |
| ディスカバリーズ株式会社           | 情報・通信       | 株式会社日立製作所          | 製造          |                          |          |
| 株式会社テレビ朝日              | 放送          | PwCコンサルティング合同会社    | コンサルティング    |                          |          |
| 東京ガス株式会社               | ガス          | 富士ソフト株式会社          | 情報・通信       |                          |          |
| トヨタコネクティッド株式会社         | 製造（IT）      | 株式会社BLUEISH        | システム開発      |                          |          |
| 日本総合システム株式会社           | ソフトウェア開発・販売 | 株式会社ブレイド           | 情報・通信       |                          |          |
| 日本たばこ産業株式会社            | 食品          | 株式会社ブレインパッド        | 情報・通信       |                          |          |
| 日本郵政株式会社               | サービス        | ファインディ株式会社         | 人材          |                          |          |
| 株式会社野村総合研究所            | 総合研究所       | 株式会社ベネッセコーポレーション   | 人材          |                          |          |
| 株式会社博報堂D Yホールディングス     | サービス        | 三菱総研DCS株式会社        | 情報・通信       |                          |          |
| パーソルホールディングス株式会社       | 人材          | 株式会社村田製作所          | 製造          |                          |          |

# Generative AI Conferenceご協賛の3つの特徴

## 1. 生成AIに関する専門団体「Generative AI Japan」との連携

企業や団体による生成AIの優れた活用事例を表彰する「生成AI大賞」を同時開催

### ■ 審査基準

課題設定／実装の工夫／インパクト／ガバナンス／将来性

### ■ 審査委員長

GenAI代表理事／慶應義塾大学 医学部 教授 宮田 裕章 氏

### ■ 応募期間

2026年7月13（月）～9月28日（月）（予定）



## 2. 生成AIに関する有識者・関係者が集う「ネットワーキングパーティー」の開催

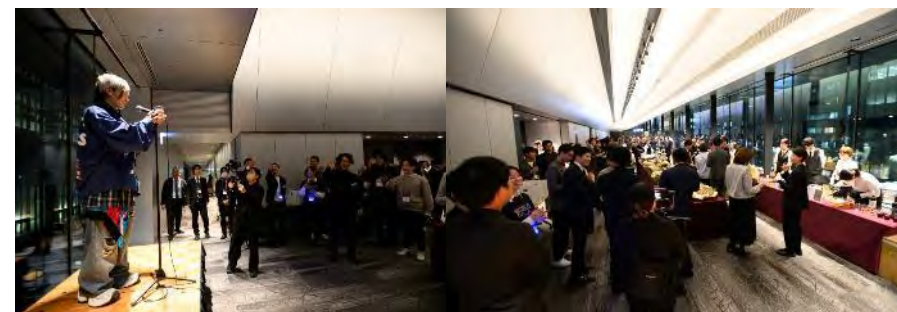
本カンファレンスの最後には関係者限定のネットワーキングパーティーを実施、生成AIに関連する有識者・関係者とのネットワーク構築に繋がります。

### ■ ネットワーキングパーティー開催概要(予定)

会場 : TODA HALL & CONFERENCE TOKYO ホワイエ

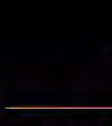
参加対象 : Generative AI Conference登壇者  
Generative AI Japan会員企業代表者及び関係者  
生成AI大賞 最終選考会登壇企業  
後援機関の代表者  
協賛企業の関係者

参加者数(予定) : 50 ~ 60名



2025年の開催の様子

### 3. 「日経ビジネス」媒体でのプロモーションとメディア露出



# Japan Generative AI Award 生成AI大賞2025 グランプリ

## Japan Generative AI Award 「生成AI大賞2025」グランプリはコ ロブラ



「生成AI大賞2025」の特別賞ポイントは、生成AI導入の背景となる課題設定、実装時の工夫、導入インパクト、ガバナンス、将来性の5項目。昨年を上回る応募の中で、1次・2次審査を経た8組が最終審査に選んだ。応募内容も昨年の第1回を上回る充実ぶりだった。一般社団法人Generative AI Japan代表理事で専修大学大の宮田浩祐教授は、「AIは私たちの認知を拡張し、より健康で豊かな、そして誰かが輝ける社会を共創するための不可欠なパートナー。今回の事例が示したのはテクノロジーと人間の意思が融合した先に広がる、輝かしく未来の設計図そのものだった」と総評した。

選ばれた8組のうち、デジタルハリウッド、東京都町田市、コロブラ、中原製作所、三穂電機デジタルインノベーション、日本電気の6組に優秀賞を贈呈。さらに、SHIFT、Shippigaが特別賞に選出。そして筑ええるグランプリに輝いたのがコロブラだ。

### INDEX

- Japan Generative AI Award**
  - 「生成AI大賞2025」
  - グランプリはコロブラ
- 日本製作所**
  - ソートウェアの世界から現実世界へ「フィジカルAI」がのびる未来
- 三穂電機**
  - トリアルド「再創生」で「導入後の伊」
  - 定率99%を達成し取り組み
- 中外製薬**
  - AIによる効率的な薬品開発
  - AIを新創薬基盤に転換
- Sansan**
  - 「生成AIビジネスとデータ管理が鍵」
  - 1年後のAIで再定義された活用の本質
- アイレット**
  - 「現場の知見」を基盤にDXを推進
  - 不確実・個体差への生成AI活用戦略
- フレッド**
  - AI活用による協働力の向上
  - 「顧客エンゲージメント」
- 情報堂**
  - 生成AIの時代こそ可能になる
  - 「AIに寄り添った新しいブランド創造」
- サテライトオフィス**
  - 4000社が選んだ「AI活用は必須」
  - 活発な事業へ転換する経営者と社
- バーン・カウ・オブ・スイッチ  
コンサルティング**
  - BPMを軸としたAIとユーザー体験への導入
  - 失敗への予防から成功までサポート
- ZVC Japan (Zoom)**
  - 新たなビジネス機会ツールではない
  - AI時代を加速させるZoomの活用
  - AI/GenAIでデジタルトランスフォーメーションの加速
- 電通研究所 / 日本経済建設院**
  - 日本経済建設院の事例に見る
  - 生成AI導入への考え方
- オプティン / フォックス・テクノ**
  - ここからAI時代への導入のスタート
  - 世界と繋がるためのインフラとは？

[illegible]

【参考例】Generative AI Conference2025での日経ビジネス/日経ビジネス電子版レビュー記事

# **Generative AI Conference**

## **ご協賛について**

# ご協賛メニュー

|                       | プラチナ協賛<br>600万円                           | ゴールド協賛<br>400万円                  | シルバー協賛<br>300万円                                                                   |
|-----------------------|-------------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
|                       | 先着3社                                      | 先着6社                             | 先着3社                                                                              |
| 講演                    | 30分/1枠                                    | 30分/1枠                           | なし                                                                                |
| リスト提供                 | 事前登録者全リスト提供<br>(800-1000名想定)              | 事前登録者全リスト提供<br>(800-1000名想定)     | 事前登録者リスト提供<br>(600名想定) ※ランダム抽出                                                    |
| 展示                    | 簡易展示ユニット1台                                | なし                               | なし                                                                                |
| 講演レビュー                | 雑誌換算 4C1P 程度の分量を<br>日経ビジネス & 日経ビジネス電子版に掲載 | 雑誌換算 4C1P 程度の分量を<br>日経ビジネス電子版に掲載 | なし                                                                                |
| 会場・HPでのロゴ掲載           | 大                                         | 中                                | 中                                                                                 |
| カタログ配布                | 1点                                        | なし                               | なし                                                                                |
| 個別アンケート               | 実施可能                                      | 実施可能                             | なし                                                                                |
| ネットワーキング<br>パーティへの参加権 | あり (2名)                                   | あり (1名)                          | あり (1名)                                                                           |
| CF動画                  | なし                                        | なし                               | イベント中にCF (コマーシャルフィルム)<br>動画を最大2分半まで放映可能。<br>(30秒×4回など分割も可能)<br>配信時間帯は主催者で決定いたします。 |

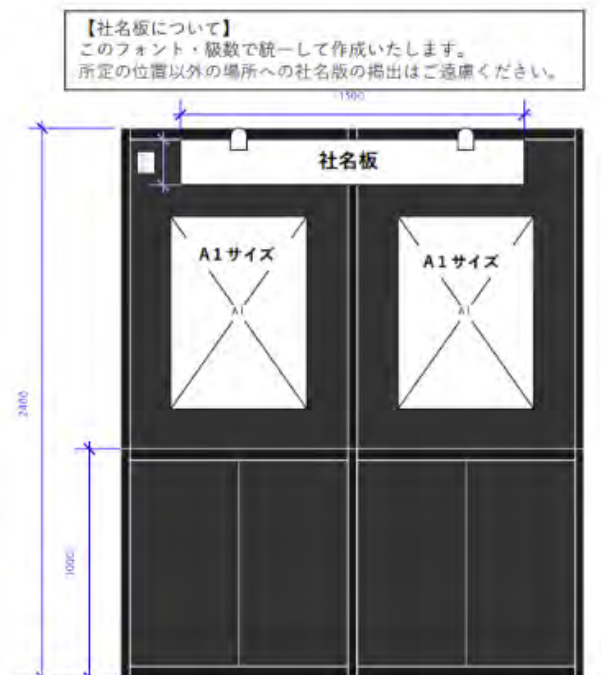
※講演内容は事例中心の内容でお願いいたします。

# プログラム案

| 時間          | プログラム                  |                  |
|-------------|------------------------|------------------|
| 10:00~10:40 | 基調講演（40分）              |                  |
| 10:45~11:15 | 特別講演 プラチナスポンサー枠①（30分）  |                  |
| 11:20~11:50 | 特別講演 プラチナスポンサー枠②（30分）  |                  |
| 12:00~12:30 | 特別講演 プラチナスポンサー枠③（30分）  |                  |
| 12:30~13:00 | 昼休憩                    |                  |
| 13:00~13:30 | 主催者講演（30分）             | 主催者講演（30分）       |
| 13:40~14:10 | ゴールドスポンサー枠①（30分）       | ゴールドスポンサー枠②（30分） |
| 14:20~14:50 | ゴールドスポンサー枠③（30分）       | ゴールドスポンサー枠④（30分） |
| 15:00~15:30 | 主催者講演（30分）             | 主催者講演（30分）       |
| 15:40~16:10 | ゴールドスポンサー枠⑤（30分）       | ゴールドスポンサー枠⑥（30分） |
| 16:20~18:20 | 生成AI大賞2026<br>最終審査・表彰式 |                  |
| 18:35~19:35 | ネットワーキングパーティ           |                  |

※協賛状況によってプログラムは変更となる可能性があります。

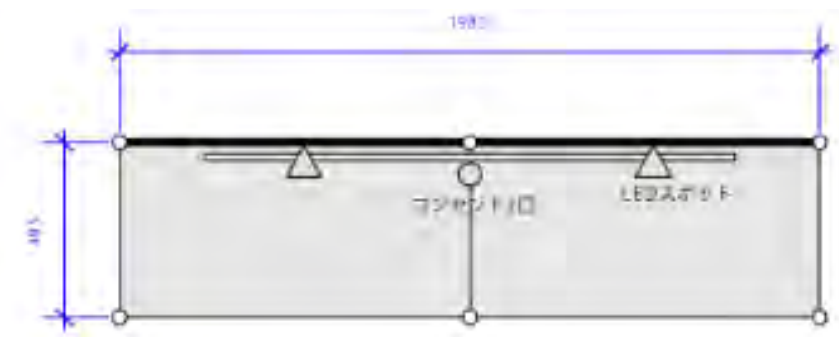
# 簡易展示ユニットの仕様



## 事務局よりご用意させていただくもの

すべてのスポンサー区分で追加可能

- ① 展示システムユニット
- ② 社名板
- ③ LEDスポット
- ④ 電源（必要に応じて）
- ⑤ 無線Wi-Fi（必要に応じて）



展示イメージ

※仕様は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

生成AIの実装・定着をテーマに、エグゼクティブ同士が課題と実務を率直に議論

+700万円

**基本仕様**

少人数の朝食会で、深い対話と関係構築を促進

- ✓ **90分** 朝食会形式
- ✓ **5名程度** CxO／DX・AI責任者／情報システム・事業部門責任者
- ✓ **1名** スポンサー参加（傍聴は2名まで可）
- ✓ **進行** 専門家＋日経BPによる課題提起とモデレーション
- ✓ **開催後** 参加者アンケートをご提供

**当日タイムテーブル（イメージ）**

- 7:30-7:40** ご挨拶・オープニング
- 7:40-8:00** トピック共有・課題提起
- 8:00-8:50** 事例・課題を踏まえたディスカッション
- 8:50-9:00** クロージング

専門家の知見と日経BPの進行力で、  
議論を次のアクションへ。

※製品プレゼンテーションではなく、参加者が対等な立場で議論する場です。

## ① 日経クロステック タイアップ

会期前の期待醸成にも、会期後の成果発信にも使える協賛社限定オプション

協賛講演の発信力を、日経クロステック読者へ拡張

### 会期前 プレビュー記事

- ・講演テーマや問題意識を先行発信
- ・イベントへの期待と参加動機を醸成
- ・協賛社の強みを来場前から印象づける

### 会期後 タイアップ記事

- ・講演で提起した課題や知見を広く発信
- ・イベントでの議論を起点に理解を深化
- ・専門性・ソリューションを継続訴求

※掲載時期は、会期前のプレビュー記事・会期後のレビュー記事から選択可能です。

※会期後タイアップ記事は2027年3月末までの掲載開始

## ② レビュー記事：日経クロステック拡張パック

日経ビジネス掲載記事を、日経クロステックからも誘導し読者接点を拡張

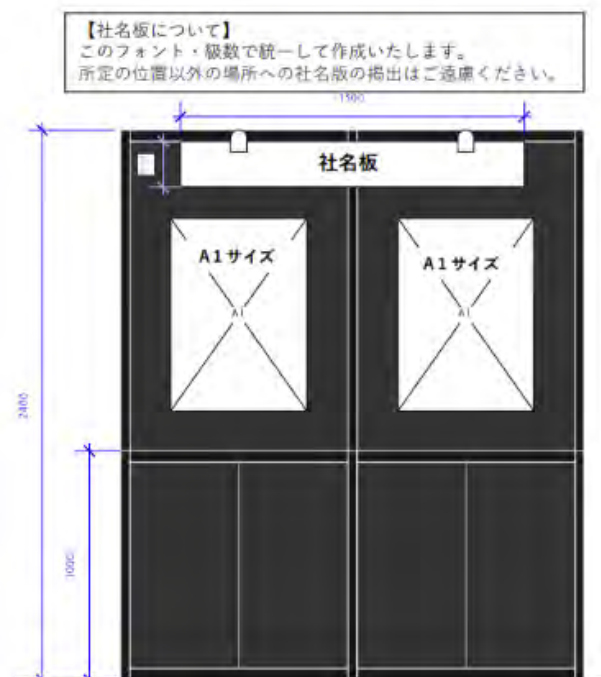
通常 200万円

150万円



※動画付きプランもご提案可能です。ご相談ください。

100万円



**+50万円**

すべてのスポンサー区分で追加可能

- ① 展示システムユニット
- ② 社名板
- ③ LEDスポット
- ④ 電源（必要に応じて）
- ⑤ 無線Wi-Fi（必要に応じて）



展示イメージ

※協賛区分を問わず追加可能です。仕様は変更になる場合があります。

## 【開催概要】

|           |   |                                                                          |
|-----------|---|--------------------------------------------------------------------------|
| 日         | 時 | 2025年12月11日(木) 10:00~18:20                                               |
| 開催形式      |   | リアル (TODA HALL & CONFERENCE TOKYO)                                       |
| 主催        |   | 日経ビジネス                                                                   |
| 協力        |   | 一般社団法人Generative AI Japan / 日経BP 総合研究所                                   |
| プラチナパートナー |   | 博報堂、アイレット、ブレイド (ABC順)                                                    |
| ゴールドパートナー |   | 電通総研、オプテージ、パーソルワークススイッチコンサルティング、セールスフォース・ジャパン、サテライトオフィス、ZVC JAPAN (ABC順) |
| シルバーパートナー |   | ミロ・ジャパン、PKSHA Technology (ABC順)                                          |
| 受講料       |   | 無料(事前登録制)                                                                |
| 視聴者       |   | 402名(事前登録者:913名)                                                         |



[2025年イベントLP](#)

[2025年採録記事](#)

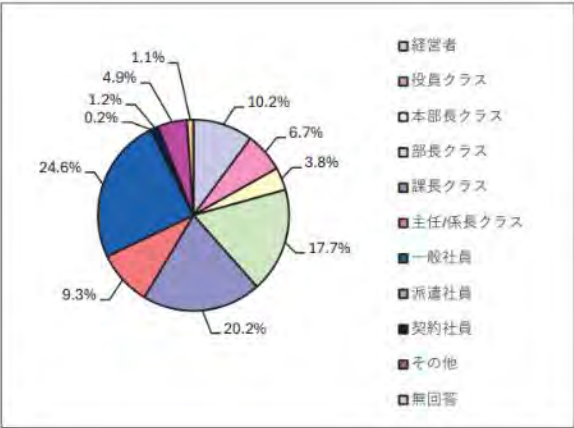
【事前登録者属性】

経営者・役員・本部長で約20%  
意思決定層で約68%

役職

|          | 件数  | %     |
|----------|-----|-------|
| 経営者      | 93  | 10.2% |
| 役員クラス    | 61  | 6.7%  |
| 本部長クラス   | 35  | 3.8%  |
| 部長クラス    | 162 | 17.7% |
| 課長クラス    | 184 | 20.2% |
| 主任/係長クラス | 85  | 9.3%  |
| 一般社員     | 225 | 24.6% |
| 派遣社員     | 2   | 0.2%  |
| 契約社員     | 11  | 1.2%  |
| その他      | 45  | 4.9%  |
| 無回答      | 10  | 1.1%  |
| 合計       | 913 |       |

( N= 913 )

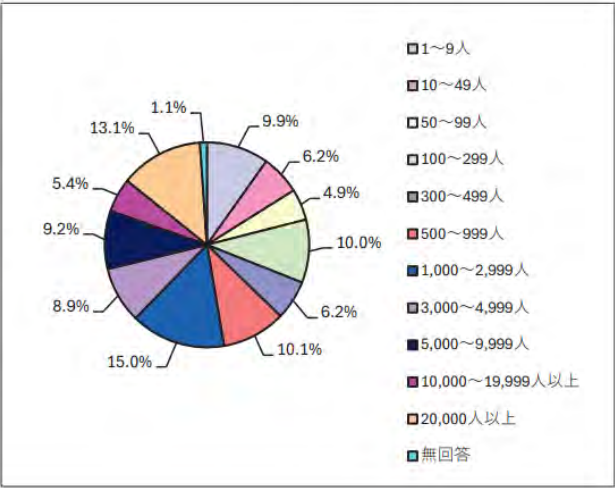


お勤め先従業員規模

|                  | 件数  | %     |
|------------------|-----|-------|
| 1～9人             | 90  | 9.9%  |
| 10～49人           | 57  | 6.2%  |
| 50～99人           | 45  | 4.9%  |
| 100～299人         | 91  | 10.0% |
| 300～499人         | 57  | 6.2%  |
| 500～999人         | 92  | 10.1% |
| 1,000～2,999人     | 137 | 15.0% |
| 3,000～4,999人     | 81  | 8.9%  |
| 5,000～9,999人     | 84  | 9.2%  |
| 10,000～19,999人以上 | 49  | 5.4%  |
| 20,000人以上        | 120 | 13.1% |
| 無回答              | 10  | 1.1%  |
| 合計               | 913 |       |

( N= 913 )

従業員数1,000名以上の  
大手企業が半数以上

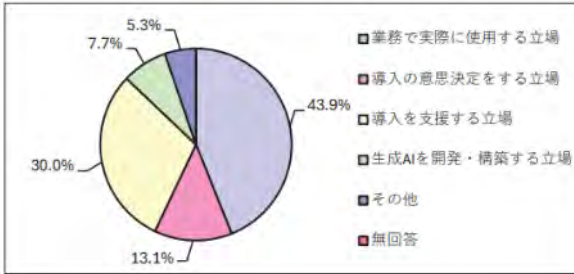


生成AIを利用するユーザー企業が約57%

生成AIに関して、あなたの立場に最も近いものを選択してください。

|                | 件数  | %     |
|----------------|-----|-------|
| 業務で実際に使用する立場   | 401 | 43.9% |
| 導入の意思決定をする立場   | 120 | 13.1% |
| 導入を支援する立場      | 274 | 30.0% |
| 生成AIを開発・構築する立場 | 70  | 7.7%  |
| その他            | 48  | 5.3%  |
| 無回答            | 0   | 0.0%  |
| 合計             | 913 |       |

( N= 913 )

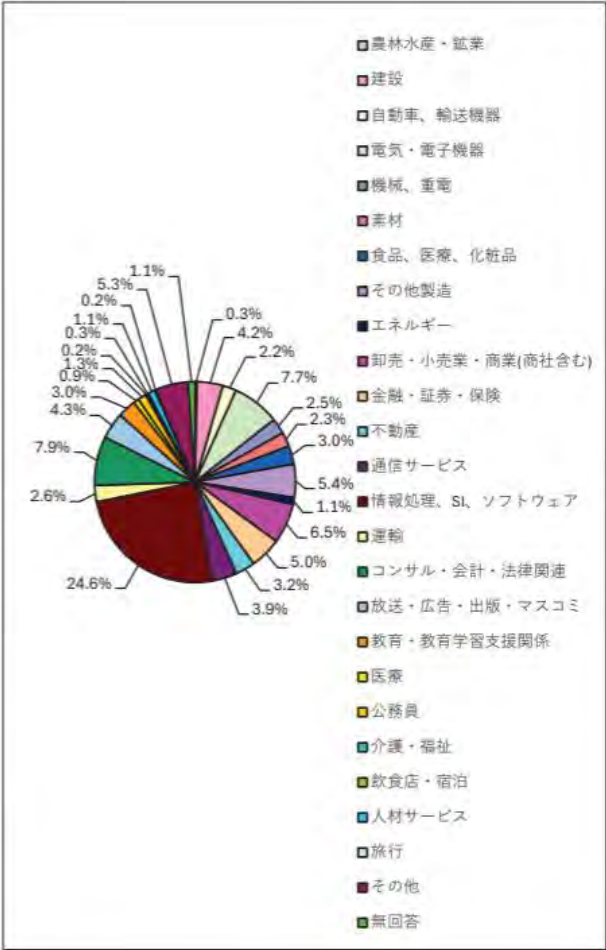


【事前登録者属性】

業種

|                 | 件数  | %     |
|-----------------|-----|-------|
| 農林水産・鉱業         | 3   | 0.3%  |
| 建設              | 38  | 4.2%  |
| 自動車・輸送機器        | 20  | 2.2%  |
| 電気・電子機器         | 70  | 7.7%  |
| 機械・重電           | 23  | 2.5%  |
| 素材              | 21  | 2.3%  |
| 食品・医療・化粧品       | 27  | 3.0%  |
| その他製造           | 49  | 5.4%  |
| エネルギー           | 10  | 1.1%  |
| 卸売・小売業・商業(商社含む) | 59  | 6.5%  |
| 金融・証券・保険        | 46  | 5.0%  |
| 不動産             | 29  | 3.2%  |
| 通信サービス          | 36  | 3.9%  |
| 情報処理・SI、ソフトウェア  | 225 | 24.6% |
| 運輸              | 24  | 2.6%  |
| コンサル・会計・法律関連    | 72  | 7.9%  |
| 放送・広告・出版・マスコミ   | 39  | 4.3%  |
| 教育・教育学習支援関係     | 27  | 3.0%  |
| 医療              | 8   | 0.9%  |
| 公務員             | 12  | 1.3%  |
| 介護・福祉           | 2   | 0.2%  |
| 飲食店・宿泊          | 3   | 0.3%  |
| 人材サービス          | 10  | 1.1%  |
| 旅行              | 2   | 0.2%  |
| その他             | 48  | 5.3%  |
| 無回答             | 10  | 1.1%  |
| 合計              | 913 |       |

( N = 913 )

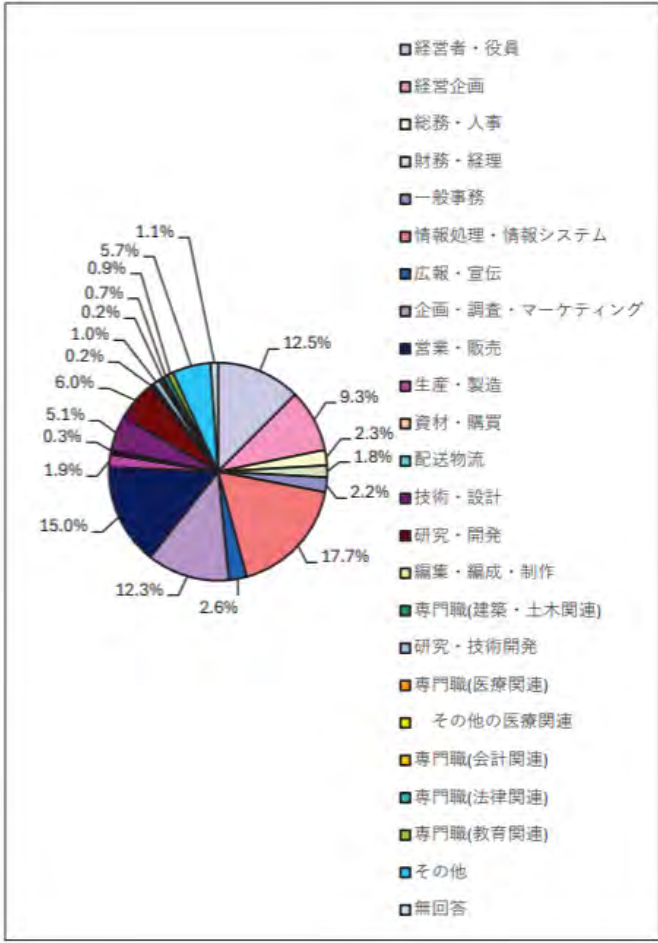


職種

|               | 件数  | %     |
|---------------|-----|-------|
| 経営者・役員        | 114 | 12.5% |
| 経営企画          | 85  | 9.3%  |
| 総務・人事         | 21  | 2.3%  |
| 財務・経理         | 16  | 1.8%  |
| 一般事務          | 20  | 2.2%  |
| 情報処理・情報システム   | 162 | 17.7% |
| 広報・宣伝         | 24  | 2.6%  |
| 企画・調査・マーケティング | 112 | 12.3% |
| 営業・販売         | 137 | 15.0% |
| 生産・製造         | 17  | 1.9%  |
| 資材・購買         | 3   | 0.3%  |
| 配送物流          | 3   | 0.3%  |
| 技術・設計         | 47  | 5.1%  |
| 研究・開発         | 55  | 6.0%  |
| 編集・編成・制作      | 2   | 0.2%  |
| 専門職(建築・土木関連)  | 3   | 0.3%  |
| 研究・技術開発       | 9   | 1.0%  |
| 専門職(医療関連)     | 4   | 0.4%  |
| その他の医療関連      | 2   | 0.2%  |
| 専門職(会計関連)     | 1   | 0.1%  |
| 専門職(法律関連)     | 6   | 0.7%  |
| 専門職(教育関連)     | 8   | 0.9%  |
| その他           | 52  | 5.7%  |
| 無回答           | 10  | 1.1%  |
| 合計            | 913 |       |

( N = 913 )

経営・経営企画 21.8%  
営業・マーケティング 27.3%  
情報システム 17.7%



Q19. 今回のカンファレンスに関してご意見、ご感想があればお聞かせください。

- よかった
- 有意義でした。
- 最新の情報を事例もあり、大変有益なセミナーでした。
- 途中からセッションが分かれてましたが、どちらも聞きたかった。  
リアル開催は集中して受講できるため改めて良いと思った。音やムービーなどはリッチで良かった。
- AI活用に向けたアイデアを数多くいただけ参考になりました。
- 今年の総括として内容がまとまっていて良かった。企業事例がとても参考になった。
- 最新情報ありがとうございます。
- 中小企業の企業経営に特化した情報提供があると有難いです
- 新しい情報を取得することが出来、大変有意義なイベントでした。開催ありがとうございました。
- 最新の良い情報をたくさん得られた。
- これからのAIに期待が持てました。
- 生成AIが、「IT部門だけの課題」ではなく「全社戦略・経営戦略」であることを、明確にメッセージングできている点が重要です。  
これにより、単発の導入ではなく、組織全体の変革につながる取り組みが加速すると期待できます。大変参考になりました。  
ありがとうございました。
- 大変為になりました。
- 昨年に比べて、自分ごとに感じられる情報に感じました。面白かったです。
- 勉強になりました。また次回も参加させて頂きたいとおもいます。
- 題材の選択としてよくまとまっていて参考になりました。また、日本での応用開発をどんどん進めないと行けないであろう点も気付かされました。
- 企業でのAI活用が、思っていた以上に進んでいると勉強になりました。
- ハイレベルの概要としては有益なセッションでしたが、欲を言えばもう少し掘り下げた活用例などの共有があればなお良かったと思います。
- 国(デジタル庁など)や自治体な動きも知りたい。また、LLMの進化がはやく追いついていけない。今後どのような世界になるのか知りたいので、ガートナーやGoogleなどの知見も聞きたい。
- これだけの先進事例が、熱量タププリの発表で聞けるのは大変ありがたい。勉強になりました。
- 大変勉強になりました。
- 既に社会実装がかなり進んでおり、大企業と中小企業との間で取り組み状況に差が生まれている事に強い危機感を覚えました。  
まだまだ情報収集の段階ではありますが、何が出来るのか、よく考えていきたいと思います。
- 参考になりました。ありがとうございます。



- 協賛申込締切 : 10月中旬
  - プログラム確定 : 10月下旬
  - 社告掲載/告知サイトオープン : 11月上旬予定
  - Generative AI Conference 会期 : 12月16日 (水)
  - 開催報告掲載 : 2027年1月下旬以降
- 

日経BP アカウントビジネス部

TEL : 03-6811-8025 / E-mail : [c-ad@nikkeibp.co.jp](mailto:c-ad@nikkeibp.co.jp)